

## 第3学年社会科学学習指導案

授業者 安来市立能義小学校 大櫃 真由美

### 1 単元名 店ではたらく人 ～ のきにあつたらいいな こんなお店 ～

### 2 目標

- ショッピングセンターやコンビニエンスストアについて、それぞれの特色とそれに応じた販売の工夫について聞き取ったり、調べたりしたことをまとめることを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるために様々な工夫をしていることを理解するとともに、見学・調査したり白地図にまとめたりする技能を身につける。
- 消費者の願いや販売の仕方、他地域との関わりなどに着目して販売の仕事の様子を捉え、販売の仕事に見られる工夫を考え、文章で記述したり図表などにまとめたりして表現する。
- 地域にどんな店があるとよいか消費者や販売者の立場から多角的に考え、意欲的に追究しようとするとともに、地域社会の一員として市の仕事の発展について考えようとする態度を養う。

### 3 単元設定の理由

#### (1) 単元について

本単元は、学習指導要領第3学年の内容(2)ア(イ)(ウ)、イ(イ)に基づいて設定された単元である。消費者の願いや販売の仕方、他地域や外国との関わりに着目し、販売の仕事の様子を捉えることを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いに応じた店の売り上げを高める様々な工夫があることを理解することをねらいとしている。

本単元では、異なる特色をもつスーパーマーケットとコンビニエンスストアを題材に学習を進めていく。近年、商店が地域社会へ果たす役割は大きくなってきている。ショッピングセンターでは、商品を売るだけでなく、環境へ配慮した取り組み、地域を盛り上げる活動、コミュニケーションの場としての役割、高齢者や車がかえれない消費者への宅配サービスなど、わたしたちの暮らしに密着した取組を行っている。また、コンビニエンスストアでは、食品にとどまらず多様な商品を取り扱っている。郵便事業、宅配便の受け付け、公共料金の支払いなど行っていたり、銀行ATMが設置されたりしている。

このことを踏まえ、消費者の信頼を損なうことなく売り上げを高めるための販売者の工夫は、商品の品質や価格などを考えて購入している消費者の工夫に結び付いていることを理解させる。さらに、人や物が広い地域で行き来しており、その関わり合いによって私たちの生活が支えられていることも捉えることができるようにする。

そして、二つの店の工夫や意味を比較、推論しながら、自分たちの地域にどのようなお店があつたらよいかという課題を、自分たちの生活と関連付けながら追究していく。地域にどのようなお店が必要かを考えることは、地域の将来について考える上でも、大切な視点となると考える。

#### (2) 児童の実態

省略

### (3) 指導にあたって

#### ◇研究の視点①【単元構成の工夫】について

「出会い」の場面では、児童の家庭での買い物した店や回数、買った物などを調べ、利用する店の位置関係をグラフや安来市の白地図に表す。これまで学習した市の土地利用の様子と関連させながら、位置や空間に着目して、店の分布を捉えさせる。グラフや白地図から、店の分布や利用には偏りがあること、店は、国道近くに多く集まっていること、コンビニエンスストアは市のいろいろな地域にあることなど、比較したり、推論したりする。そして、自分たちの住む地域にはお店がないという事実に出合わせ、地域にもお店があるといいな、という思いをもたせ、単元を貫く問い『「能義にあったらいいな、こんなお店」を考えよう』を設定する。単元を貫く問いを設定することにより、単元全体を通して、自分や地域の人々との生活と関連させながら、課題意識をもって店の仕事の様子について追究できるようにする。

「追究」場面では、スーパーマーケットとコンビニエンスストアの見学に行き、売り場や働いている人の工夫、他地域とのつながりや環境を守るための取組などについて自分で確かめたり、店の人やお客さんにインタビューしたりしながら発見できるようにする。課題意識をもたせるため、見学の前には、「なぜ多くの人が集まるのだろうか」という問いを設け、一人一人仮説を立て、見学の目的をはっきりさせてから見学・調査活動を行う。見学の後には、見学で見聞きしたお店の工夫の意味を話し合い、お店は、消費者の多様な願いに応じて、売り上げを高めるために様々な工夫が行われていることを捉えさせる。話し合いの場では、自分の考えがもてるよう、考えの根拠となるこれまでの学習の流れが分かる掲示物や写真資料、統計的なグラフ、折り込み広告などの資料として準備する。

「広げる」場面では、かつて地域にあった個人商店について取り上げ、これまでの学習で学んできた店の工夫と比較、分類しながらそれぞれの店のよさを整理する。そして、これまで学習してきたことを活用する場として、自分たちの住む地域にお店があるとしたらどのような物売って、どのような販売の仕方をするのかを考え、表現活動を行う。地域のお店を考えることは、自分や地域の人々の生活と関連させて、よりよい地域社会について考えようとする態度の育成につながると考える。

#### ◇研究の視点2【評価の工夫】について

「出会い」の場面での児童の驚きや興味・関心から単元を貫く問いを設定し、この単元を貫く問いとその時間の学習活動とを結びつけた振り返りをする中で、児童の学びが単元を通してつながるようにする。

1 時間毎の振り返りでは、「振り返りカード」を活用し、視点を示しながら振り返り活動を行い、自身の学びを自覚させたり、今後の学習の見通しや意欲につなげたりできるようにする。また、互いの学びを共有する場を設けることで、多角的・多面的な考えに触れたり、新たな気付きがもてるようにしたりし、学習を深めていく。さらに、評価計画をもとに、子どもの発言やつぶやき、人と関わる様子、振り返り等から、子どもの思いや願い、気付き、つまずき等学びの様子を指導者が把握し、次時の指導に生かしていく指導と評価の一体化を目指し、計画的に評価していく。

## 4 指導計画

### (1) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集めて読み取り、販売の仕事に見られる工夫を理解している。 ②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いに応じ、売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解している。	①消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して問いを見だし、販売の仕事に見られる工夫を考え表現している。 ②調べたことを消費者の願いと関連付けて販売の仕事の工夫を考え、適切に表現している。	①地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てて、主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。 ②よりよい地域社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。

(2) 単元構造図（「知識」と「問い」の構造図）※別表

(3) 評価計画

次	評価の観点	方法	支援が必要な児童への手立て
1 出 合 い	① 安来市には様々な種類のお店があることを理解している。【知・技①】	発言内容 ノート	・市のスーパーマーケット、コンビニエンスストア、個人商店の写真を提示する。
	② 必要な情報を読み取り、市の商店の位置や散らばりから商店の分布について理解している。【知・技①】	白地図 発言内容 ノート	・大型提示装置に市の地図を映し出し、白地図に記入させたものと比較して確認できるようにする。
	③ 販売の仕事について学習問題や予想、学習計画を考え表現している。【態度①】	発言内容 ノート	・学習の流れを提示し、学習の調べ方やまとめ方について確認する。
2 追 究	④ 生活経験からスーパーマーケットにお客さんが来る理由を考えることができる。【思・判・表①】	発言内容 ノート	・売り場の様子の資料を提示し、買う人がスーパーマーケットを利用したくなる理由を探すよう観点を明確にする。
	⑤ 必要な情報を集め、読み取り、スーパーマーケットの売り場にはお客さんのための様々な工夫があることを理解している。【知・技①】	発言内容 ノート	・見学の際の写真や教科書資料を提示し、売り場の工夫に結び付けて考えられるようにする。
	⑥ 必要な情報を集め、読み取り、品物を通したスーパーマーケットの他地域や外国との関わりについて理解している。【知・技①】	発言内容 ノート	・商品の値札シールや店内の表示、折込広告を資料として用意し、品物の産地を明らかにする。
	⑦ 売り上げを高めるために、お客さんのニーズに応じた販売の工夫が行われていることを理解している。【知・技②】	発言内容 ノート	・お客さんの願いと店の工夫について視覚的に分かるようなこれまでの学習のまとめを提示しておさえる。
	⑧ スーパーマーケットとは異なる形態のコンビニエンスストアにたくさんのお客さんが来る理由を考えることができる【思・判・表①】	発言内容 ノート	・これまでのコンビニエンスストアで購入したものを挙げさせ、買う人が利用したくなる理由を探すよう観点を明確にする。
	⑨ 必要な情報を集め、読み取り、コンビニエンスストアの売り場にはお客さんのための様々な工夫があることを理解している。【知・技①】	発言内容 ノート	・見学の際の写真や教科書資料を提示したり、これまでの学習と比較したりしてコンビニエンスストアの売り場の工夫を考えるようにする。
	⑩	白地図の 内容	
	⑪ 売り上げを高めるために、お客さんのニーズに応じた販売の工夫が行われていることを理解している。【知・技②】	発言内容 ノート	・お客さんの願いに応じた店の工夫について視覚的に理解できるよう板書を工夫する。
3 広 げ る	⑫ 地域にかつてあった個人商店のよさを知り、これまでの学習と関連付けて考えることを通して、自分たちの生活と販売の仕事との関連や販売の仕事の発展について考えている。【態度②】	発言内容 ノート	・お店を考える上で、自分たちが、将来にわたって、地域でよりよい生活が送れることが大切であることを確認する。
	⑬ これまで学習したことを基に、消費者の願いに応じたお店の工夫を考え、表現することができる。【思・判・表②】	カード 発言内容 ノート	・安来市の地図やこれまでの学習をまとめた掲示物を提示して考えさせる。

## 5 本時の学習（12／13）

### （1）目 標

地域にかつてあった個人商店のよさを知り、これまでの学習と関連付けて考えることを通して、自分や自分の家族にとって、能義にはどんなことを大切にしたいお店があるとよいか考えようとするができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

### （2）展 開

学習活動	教師の支援と評価
<p>1. 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スーパーマーケットやコンビニエンスストアでは、売り上げを高めるためにさまざまな工夫がされている。</li> </ul> <p>2. 本時の学習課題をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の安来市の店の分布図と、30年前の安来市の店の分布図を比較する。</li> <li>校区にあった商店について知り、店を利用していた人の声を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元を貫く問いと学習計画を掲示物に明記し、見通しをもって主体的に追究活動に取り組めるようにする。</li> <li>スーパーマーケットとコンビニエンスストアでは、店の形態に違いはあるが、それぞれ買う人の願いを踏まえ、売り上げを高めるための工夫がされていたことを確認する。</li> <li>現在のお店を赤シール、30年前にあった市内の個人商店を青シールで地図上に示し、店の数が比較できるようにする。</li> <li>30年前の町の写真を提示し、当時の人々の生活の様子がイメージできるようにする。</li> <li>校区にあった商店の位置を安来市の地図上で示し、地域に個人商店があったことを確認する。</li> <li>地域にかつてあった商店を利用していた地域の人の声（地域にお店があることのよさや地域にお店がなくなって困ったことなど）を紹介する。</li> <li>地域のお店がなくなった理由については深く追求しないようにする。</li> </ul>
<p>わたしたちが住むのきには、どんなことを大切にしたいお店があるとよいか考えよう。</p>	
<p>3. これまでの学習をもとに考え、話し合う。</p> <p>【種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>店には、たくさんの種類があり、必要に応じて選べるという。</li> </ul> <p>【値段】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>たくさんのお客さんが来る目玉商品がある店がいい。</li> </ul> <p>【利便性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の生活に必要なものが売っている店がいい。</li> <li>車に乗らない人が歩いて行ける店がいい。</li> <li>地域以外の人も来るために、広い駐車場があるという。</li> </ul> <p>【独自性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>能義に来ないと買えないものを売る店がいい。</li> <li>のきの郷の商品を売る店がいい。</li> </ul> <p>【安心・信頼】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お店の人とお客さんが親しく、必要な物を知ってくれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人思考の後、グループごとの意見交流をすることにより、一人一人自分の考えをもったり、深めたりできるようにする。</li> <li>スーパーマーケットやコンビニエンスストアの陳列台の写真、駐車場の写真、のきの郷の作物の写真等を提示し、これまでの学習と関連付けて考えることができるようにする。</li> <li>自分や自分の家族の生活と関連付けながら考えられるようするため、買い物調べのアンケート結果を提示する。</li> <li>出てきた意見を分類しながら板書し、多面的・多角的に考えることができるようにする。</li> <li>考えがもちにくい場合や考えが広がらない場合は、分類を提示し、考える視点を示して考えさせる。</li> </ul>

<p>4. 本時の学習をまとめ、振り返りをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>(まとめ) 自分や家族が安心して利用でき、さらに地域以外の人もたくさん来て、のきのよさを知ってもらえるようなお店があるといいな。</p> </div>	<p>・次時の学習課題「能義にあったらいいな、こんなお店」につなげていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】&lt;態度②&gt; 地域にかつてあった個人商店のよさを知り、これまでの学習と関連付けて考えることにより、自分たちの生活と販売の仕事との関連や地域社会の発展について考えようとしている。</p> </div>
---	--

**(3) 研究の視点**

本単元の構成やこれまでに学んできたことを活用しながら考えさせる本時の学習活動は、店ではたらく人の仕事について理解する上で適切であったか。

◇「知識」と「問い」の構造図  
【学習指導要領との関連】  
第3学年 内容(2)

「店ではたらく人 ～のきにあつたらいいな、こんなお店～」 (計13時間+課外)

第3学年 内容(2)

- ア  
イ  
エ  
オ
- (イ) 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解すること。
  - (ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。
  - (イ) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。

【単元目標】

○ショッピングセンターやコンビニエンスストア、それぞれの特徴とそれに応じた販売の工夫について聞き取ったり、調べたりしたことをまとめることを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるために様々な工夫をしていることを理解するとともに、見学・調査したり白地図などにまとめたうえで、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。  
【知識及び技

○消費者の願いや販売の仕方、他地域との関わりなどに着目して販売の仕事の様子を捉え、販売の仕事に見られる工夫を考え、文章で記述したり図表などにまとめたうえで表現する。  
【思考力・判断力・表現力

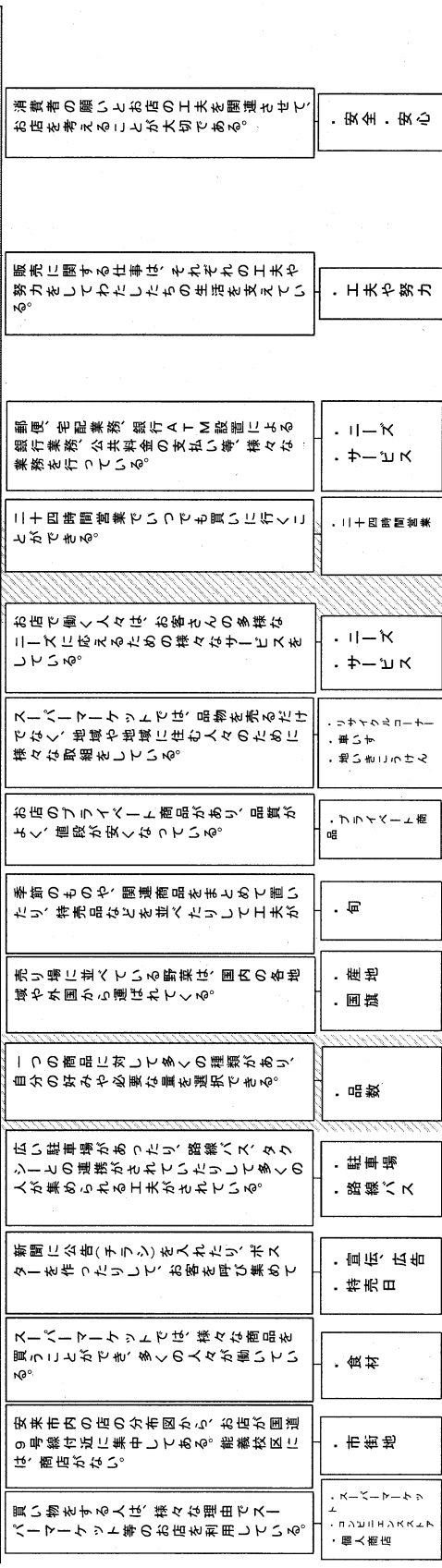
【中心概念】

販売に携わる人々は、売り上げを高めるために、様々な工夫や努力をしている。

【単元を貫く問い】

「のきにあつたらいいな、こんなお店を考えたよ ～ わたしたちが利用しているお店は、売り上げを高めるために、どのような工夫をしているのだろうか ～」

【具体的知識】



用語  
語句

社会的職業の  
見方・考え方

【問いと資料】

①②③  
家の人は、普段、どんなお店によくいくのだろうか。  
・安来市白地図  
・市内のお店の写真  
・買い物調べの結果表

④  
なぜスーパーマーケットには多くの人が集まるのだろうか。  
・買い物調べの結果表  
・白地図

⑤⑥⑦  
スーパーマーケットでは、どんな工夫がされているのだろうか。  
・店内・備品、駐車場写真  
・折込広告  
・地図帳

⑧  
なぜコンビニエンスストアにたたくさんのお客がくるのだろうか。  
・買い物調べの結果表  
・白地図

⑨⑩⑪  
コンビニエンスストアでは、どんな工夫がされているのだろうか。  
・店内写真  
・利用者の声

⑫(本時)  
わたしたちが住むのきには、どんなことを大切にしたお店がよいだろうか。  
・安来市白地図  
・能義の商店写真  
・利用者の声  
・これまでの学習をまとめた場

⑬  
これまで学習してきた販売の仕事の様子と自分の生活とを関連付けて考える。  
・安来市白地図  
・これまでの学習をまとめた場

安来市の商店の位置や販売の様子を確認し、比較したり分類したりする。

スーパーマーケットとコンビニエンスストアとを比較することで、それぞれの店の特色を消費者の生活や願いと関連させながら捉える。

商品の産地や位置や空間的な広がりに着目して捉え、他地域や外国との関わりを捉える。

消費者の生活や願いと販売の仕方とを関連付けて、店の工夫について考える。

時間の経過に着目し、お店の工夫と生活様式の変化とを関連づけて考える。

【問題解決的な学習の過程】

